



第24号

編集  
**妻木城址の会**  
 〒509-5301  
 土岐市妻木町 3051-1  
 八幡神社社務所内  
 0572-57-6441

# 妻木城址の会

## 十五周年を迎えて



おかげさまで 十五周年

妻木城址の会が平成七年に発足し、今年で十五周年目を迎えることとなり、ここに至るまでには会員の皆様を始め、地域の皆様方のご理解、ご支援、ご協力の賜であり、謹んで感謝申し上げます。

妻木町には、妻木城跡、御殿屋敷跡寺院跡、窠跡等多くの歴史の遺産、史蹟、風土が残されており、その貴重な財産・文化を継承し、後世に伝えていく活動を続けながら公民館に併設の「しろやま展示室」での展示物

平成22年度

### 総会開催

今年度妻木城址の会総会が平成

を通して多くの方に妻木の歴史と文化を知っていただくことと、妻木城跡、御殿屋敷跡の整備・保存も城址の会に課せられた使命となっております。

城址の会発足十五周年の節目を迎え事務局を中心に会の趣旨、目的にかなった活動、催し事、講演会等を計画検討中です。ですのでよろしく願います。

会員の皆様には謹んでお礼申し上げますとともに、今後においても城址の会に、なお一層のご理解、ご協力、ご支援、お力添えをお願い申し上げます。

会長 田中貞光

22年5月9日(土)妻木公民館にて開催されました。まず議事に入り、平成21年度の事業および決算報告と平成22年度の事業計画および予算についての説明・報告を行

い、満場一致で承認されました。

次に《妻木城址の会》が平成7年に誕生し、今年で15年を迎えます。この節目の年にあたり、「妻木城址の会15年の歩み」と題し、発足当初より関わりが深く当会の役員でもあります黒田正直氏から、「発足に至る経緯」や「発足から現在に至る活動」等資料や撮影記録を使用し、当手を振り返りながらの説明や今後の会の在り方へと話が進められました。場内では熱心に話を聞きながらも時折笑い

いが起こるなど、終始和やかな雰囲気の中での講話となりました。この日、出席した人からは「もう15年になるんですね。《妻木城址の会》という名称や最近の活動は知っていました。発足するまでのことや多方面にわたった活動など知らないことがかりでした。今日話を聞くことができてよかったです。」という感想が聞かれました。

これから、会の方や方向性について役員・事務局で考え、話し合い、多くの活動を通して着実に歩む《妻木城址の会》でありたいと思いを新たにしました。



総会風景

### 「妻木城址の会」誕生まで

一、はじめに  
 平成7年10月29日に「妻木城址の会」が誕生して15年の歳月が過ぎました。

妻木城の保存整備や歴史の掘り起こしをはじめとして、多くの行事を実施しながら今日まで活動してきました。節目の年を迎えて、15年を振り返り今後の会のあるべき姿を考えてみたいと思います。

### 二、会誕生のきっかけ

平成6年明治時代の著名な建築家であり、妻木小学校の校歌制定に尽力した妻木頼黄の孫にあたる妻木良朗様より、妻木家に代々伝わる品々が土岐市に寄贈されました。

これを機に妻木小学校を会場に「妻木家所蔵品展」が妻木町自治会・土岐市文化振興課によって開かれました。妻木良朗ご夫妻も妻木に来られ、妻木町の文化財のために基金の寄付をいただきました。一方岐阜県の史跡に指定されながら、草木に埋もれた妻木城跡・御殿跡を憂う声も少なからずありました。地域のシンボルである城跡を多くの人が散策出来るようになることを目標として、城の縄張り調査をおこない、御殿跡前の県道沿いに「想像図と解説板」が厄年のみなさんによって寄付されました。

三、妻木城址顕彰会」から  
妻木城址の会」へ  
平成7年正月会の発足に向けて  
話し合いが始まる。

2月24日「妻木城址顕彰会(仮称)」  
準備会の初会合が開かれる。  
城跡 御殿跡現地説明会  
土岐市長表敬訪問  
文化財展の開催決定

名称を「妻木城址の会」に変更  
ロゴマークを決定

・妻木城址の会」発会式  
妻木文化財展を開催

(妻木町内5会場)

こうした経緯で「妻木城址の会」が誕生しました。「15年の歩み」の詳細は次号の会報 もしくは出版物などでお知らせします。



### 城址の会 研修旅行記

「信州諏訪地方を訪ねて」

去る、5月29日「城址の会」研修旅行は、「天下の大祭」といわれる御柱祭の年にあたり、信州諏訪地方を訪ねた。

最初に訪れたのが諏訪市博物館。大型スクリーンによる迫力ある御柱祭の映像と博物館学芸員の説明を聞き、御柱祭がいつ頃から行われているのか定かでないが、平安時代初期の桓武天皇(811~869)時代であるのが最初の記録で、起源はさらに遡るともいわれている。数えて7年目の寅と申の年に宝殿を新築し、社殿の

四隅にモミの大木を社殿の四方に建てて



本宮一の御柱

ご神木とする勇壮な大祭である。

巨木を山から切り出し、運搬し、立て柱までの一連の行事ですが、なかでも急激な斜面を滑落させる「木落し」・「川越し」は壮絶でした。

神事といえど危険な行事の連続で、映像を見ていても思わず悲鳴が出るほどだった。

御柱にかける男のロマン、ふるさとの絆などを垣間見ることができ、自然風土の中に神を実感して生きてきた諏訪の人々である。

博物館から徒歩5分くらいの所に諏訪大社上社本宮がある。ご神体は背後の守屋山であり、その麓に建てられている。宝殿の立て替えも屋根の茅葺きをほぼ終え、揃えの段階にきていた。さらに南側の裏手へまわり、縁深い法華寺、神宮寺跡など散策した。

次は諏訪藩二万七千石、高島城へ。



高島城(浮城)

ここは本丸跡が公園となり、昭和45年に築地当初の姿に復元されたとの

こと。三層三階の天守閣は流石だ。周囲の川が堀の役目をなし、水中に城が浮き出た形から「浮城」の異名を得た。また、諏訪氏が干拓政策を進め、周囲が水田となつたが、今では住宅地に浮かぶ高島城となっているのも時代の流れか。

高島城を後にして、万治の石仏へと向かう。諏訪万治の石仏は、万治3年に妻木八幡院の閉



万治の石仏

唱の兄弟弟子が建立したもので、諏訪大社下社春宮の西に接し、畑のなかにある。高さ2m余りの半球状の巨大な自然石に仏頭をのせた摩訶不思議な石仏で古くから人々は阿弥陀様としてお参りしたようだ。

つづいて諏訪大社下社春宮です。ここは静寂な森の中に社殿が建ちならび、境内で御柱祭の「木落し」の場所を見ることができた。



高島城にて

御柱の先端を三角錐状に切り落とし、ご神木として威儀を正

す様子は見事でした。

研修を終え感じたことは、国民的な関心事となり全国を熱狂の渦に巻き込むような御柱祭、千二百年以上受け継がれたといえど、この42年間にも死者6人、重傷者31人という現状から見ると悲慘を伴うが、諏訪の文化遺産として安全で永続する神事を切に願望する。 研修担当 木股幸男

### 平成22年度事業計画

- 1、城山美化整備
  - ・ 史跡指定地・登山道の整備
  - ・ 草刈作業
  - ・ 4月11日(日) 桜並木の整備
  - ・ 同日実施 本丸、御殿跡
- 2、妻木公民館郷土資料室に
  - ・ 資料の収集と管理、展示室の改善・充実
  - ・ 文化財展の実施
  - ・ 15周年記念企画 (長期のシリーズ展示 資料室と写真展)
  - ・ 資料室展示
  - ・ 宗禅寺虫干し展 (平成22年度中実施予定)
  - ・ 八幡神社所蔵品展
  - ・ 明治の陶器展
  - ・ 文化振興課に協力要請
  - ・ 写真展
  - ・ 『妻木を撮る』妻木の今昔
  - ・ 『2010』妻木を撮る』文化祭の前後で実施 (デジタル写真 クラブと協力)

3、手作りよろいづくりと

火縄銃実演について  
妻木小学校付属幼稚園  
親子手作りよろい教室  
園児54名6月12日(土)

火縄銃実演及びよろい武者  
行列に参加予定  
『手作りよろい』  
かぶと倶楽部  
(公民館 登録団体申請)  
10月10日(日)

火縄銃の実演よろい行列  
流鏑馬にあわせて実施  
10月10日(日)

中学生ボランティア募集  
(観光案内他；妻木小学校、  
八幡神社の2箇所で活動)

4、講演研修及び普及活動

講演会(総会) 5月8日(土)  
『妻木城址の会15年の歩み』  
年表、写真(プロジェクト)  
にて解説

会場：妻木公民館大会議室

研修旅行 5月29日(土)

長野諏訪地方 万治の石仏  
高島城・諏訪大社周辺

出版事業 15周年記念企画  
『紀州妻木文書』 『下郷妻木家』

資料集出版予定  
22年度から順次取り組む

『妻木町ガイドブック』  
『妻木城址の会15年の歩み』  
小冊子等発行予定

発掘説明会

発掘開始から3年目の現在  
土屋敷周辺

文化財展の実施

機関誌の発行・ホームページ  
の充実

郷土史講座 6回  
歴史散策1回 実施予定

5、その他 城山八幡神社例祭  
4月25日(日)

6、諸会議



平成21年度事業報告

1、城山美化整備

城山山頂・登山道の草刈作業  
5月10日(日)

御殿跡草刈り作業  
10月13～15日

2、妻木公民館郷土資料室に  
関する事業

資料の収集と整理及び展示  
文化財展 10月31日(土)

『口ボコン』実演と説明会  
10月31日(土) 参加者 35名

写真展「2008～妻木を撮る」  
12月15日～1月16日  
(主催：妻木城址の会)

3、手作りよろいづくりと  
火縄銃実演

妻木小学校付属幼稚園  
親子手作りよろい教室  
6月20日(土)

火縄銃の実演とよろい行列  
10月11日(日)

流鏑馬にあわせて実施  
中学生ボランティア 19名



4、講演研修及び普及活動

講演会(総会) 5月9日(土)  
『妻木の自然』\*地形と地質\*

講師：糸魚川淳一氏  
(名古屋大学名誉教授)  
参加者 60名

研修旅行 長野飯田方面  
6月6日(土) 参加者49名

松川町資料館・高森町歴史  
民俗資料館・阿弥陀寺・  
旧小笠原家書院

郷土史講座  
1月27日～3月24日(5回)

歴史散策 神宮地区  
3月13日 参加者35名

古文書講座 34回(年間)

妻木小6年城山登山 5・15

妻木小6年修学旅行前授業  
『東大寺大仏殿の話』 5・21

妻木幼稚園 母親対象 5・27  
『妻木の歴史と町おこし』

中日文化センター 桃花台教室  
城跡・公民館・八幡神社・  
崇禅寺見学 3・10 15名

美濃古城探訪の会  
城跡・公民館・八幡神社・  
崇禅寺見学 3・28 43名



美濃古城探訪の会



5、その他

城山八幡神社例祭  
上郷嶋と合同 5・10

妻木城御殿跡発掘調査  
11・5～11・30

6、諸会議

総会 5月9日(土)

役員会 3回

事務局会議 15回

研修旅行委員会 3回

# 美濃と唐津の関係とは

## 唐津城主寺沢家と妻木家

美濃と唐津、この2つの地名から連想するものはなんでしょう。有名な焼物の産地であることはご承知のことと思います。今から400年ほど前、土岐市にある連房式登窯(元屋敷窯跡・国史跡)は唐津から伝えられたものだという伝説は、領主の間柄とは決して無縁のものではありません。

唐津の領主寺沢家は関ヶ原合戦によって肥前国唐津城12万石の大名になりました。一方妻木家は旧領を安堵され7500石の交代寄合(参勤交代をする旗本)になりました。

この両家は大変深い間柄です。妻木長門守家頼の妹が寺沢志摩守

### 新刊のご紹介

『岐阜の山城ベスト50を歩く』(定価千八百円+税)三宅唯美・中井均編著がサンライズ出版より発行されました。

この本は近江(滋賀県)・静岡に続く『山城ベスト50シリーズ』の第3弾となるもので、岐阜県内の50の山城と17の平城が紹介されています。

妻木城は土岐市埋蔵文化財センターの中島茂学芸員が紹介しています。山城散策にかっここのガイドブックですのでぜひご覧下さい。



唐津焼

広高の妻として嫁ぎ、忠晴(23歳で死去)、堅高の二子を設けます。堅高は父広高の死去により、寺沢家を相続します。

両家の石高には大きな違いがありますが、尾張出身といわれる寺沢家と妻木家は古くから親交のあったのでしよう。当時の史料からも妻木家頼と寺沢広高の間柄を知ることが出来ます。

しかしどちらの家も決して安泰ではありませんでした。妻木家は家頼、頼利、頼次と続きましたが、頼次急死により断絶してしまいました。寺沢家では広高の長男忠晴が23歳で急逝し、弟堅高が継ぎます。ところが領内に広がった島原



### 岐阜の山城ベスト50を歩く

サンライズ出版は彦根市にある地方出版社です。大型書店以外では並んでいませんので、直接お問い合わせ下さい(電話0749-22-0627)。

の乱の責任を問われて8万石に減らされ、その後におきた南蛮船撃沈事件によって、自殺をし寺沢家は断絶したのです。

どちらの家も江戸時代の早い時期に家が絶えてしまうという悲運をこうむったのでした。

写真は唐津市鏡神社にある寺沢広高の墓碑。400坪の敷地に高さ7mの大型の石塔が建てられています。



また城址の会でも取り扱っていますのでお問い合わせ下さい。見本は妻木公民館郷土資料室、城址の会事務局(八幡神社社務所内)にあります。

### 今後の活動予定

平成22年度後半は、城址の会15周年記念の事業を予定しています。

出版事業は、15年間に調査された資料をまとめて順次史料集として刊行する予定です。現在「紀州妻木家文書」、「下郷妻木家譜」、

「妻木家拝領之村々高覚」を編集または校正中です。出来次第ご案内申し上げます。

また「妻木城及び妻木の散策ガイドブック」、「妻木城址の会15年の歩み」の編集も進めています。

平成22年度会費納入のお願い

同封の振込用紙での納入、または直接ご持参ください。

直接持参していただく方は、妻木公民館または、城址の会事務局(八幡神社内)までお願いいたします。

会費は妻木城址の下刈り作業や文化財展の実施などの経費に充てられています。ぜひ、会員の継続、新規加入をお願いします。

年会費は3000円です。

### 編集後記

今年「城址の会」発足15年目に当たり、事業計画の中にも節目の年にふさわしい企画が盛り込まれています。どんなものにしようかと、今から試行錯誤しています。何かいいアイデアはないものか……

「妻木城址の会」  
ホームページアドレス  
<http://tumagijyou.jp>